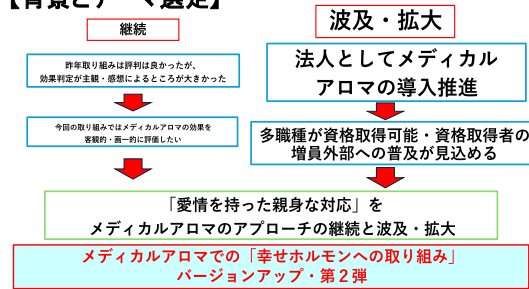


演題名	メディカルアロマによる浮腫の軽減を目指して				
施設名	ひまわり在宅サポートグループ		(ふりがな) 発表者(職種)	いわぶちあつみ 岩淵 温美 (介護福祉士)	
(ふりがな) チーム名	ひまわりは ^{ふしゅ} と ^い 浮腫を取りに行く				
分類	⑥その他				
取り組み種別	施策実行型				
改善しようとした 問題課題	■ナースインホームひまわりではメディカルアロマの取り組みを2022年度から実施していた。 ■メディカルアロマの実践により症状改善緩和の効果を得られている印象があり、当事業所の特徴の1つとして継続的にケアを実践している。 ■訪問看護で行っているグループホームに協力をいただき浮腫の改善を目指した。 ■幸せホルモンの観点からメディカルアロマの効果をより客観的に数値で評価した。				
改善の指標と その目標値	(指 標) ・利用者: ナースインとグループホームのアセスメント評価(浮腫)症状 (目標値) ・利用者: メディカルアロマを5回実施したのち利用者の下腿周径の浮腫を1.0cm以上改善				
実施した対策	■期間は令和6年3月11日～令和6年4月30日まで ■ご利用者は浮腫がある方を選定しメディカルアロマを実施。実施前後と期間前後の効果を比較した。				
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) ・利用者: ナースイン3名・グループホーム7名の計10名が(浮腫)症状課題があり。 (実施後) ・利用者: 右脚1. 68cm 左脚1. 73cm改善				
歯止めと 標準化	■法人内のメディカルアロマの取り組みを参考に、有資格者でアロマ使用の管理を行う。 ■看護アセスメント項目に不快症状のアセスメント項目追加。 ■メディカルアロマ実践マニュアルに基づいてケアを実施しセルフケアも推進していく。				
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動		チーム メンバー (職種)	1	佐々木 悠介 介護福祉士
活動の場 ※複数選択可	②支援部門 ③管理部門 ④その他			2	阿部 勇太 介護福祉士
				3	木村 絵理 介護士
活動期間	令和6年1月 ～ 6月まで			4	岩淵 温美 介護福祉士
				5	川村 望 看護師
リーダー名 (職種)	佐々木 悠介 (介護福祉士)			6	鈴木 あやめ 看護師
			7	伊藤 きよみ 介護支援専門員	
活動回数	8	回	8	山口 博子 介護福祉士	
			9	三浦 亜希 看護師	
			10	得可主 七恵 看護師	
			11	菊地 教美 理学療法士	
			12	及川 佳知 介護福祉士	



症状・訴え	対象症状
浮腫	5
皮膚関連	11
呼吸苦	2
不穏等	10
不眠	1
冷え	1
痛み	1

客観的な数値で評価しやすい
 視覚的に確認でき利用者自身が効果を自覚しやすい
 短時間で効果が出やすい
 画一的な評価ができる

自覚症状、主観的な訴えは
 効果判定にくかった
 画一的な評価が難しい

ナースイン

前回の取り組みを経てナースインスタッフの
メディカルアロマに対する意識が向上
利用者からも継続してケアをしてほしいとの声があ
った

データ（集計）してみた

効果を具体的数値で検証してみた

前回は主観での効果判定だったが今回は客観的な
数値にして効果判定を出したい

グループホーム

訪問先のグループホームの利用者で、皮膚トラブルを繰り返したり、浮腫のある方が多い

メディカルアロマの実施で症状改善し、楽になる利用者が増えてほしい

メディカルアロマを通じて、グループホームのスタッフのアセスメント力の向上ができるのではないかと

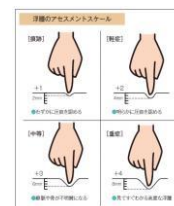
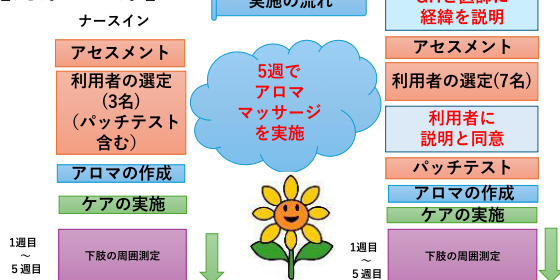
メディカルアロマの実施にあたり、医師とグループホームの許可が必要 利用者・家族への説明と同意が必要

ナースインと類似した環境で、同様のケアをした場合の効果の比較ができるのではないかと

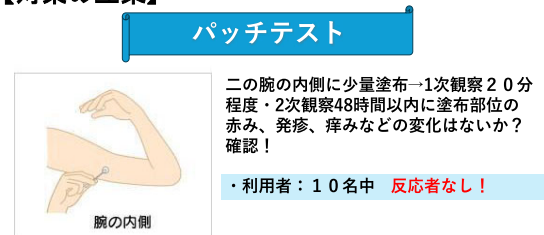
	ナースイン	グループホーム
いつまで	令和6年4月10日まで	令和6年4月30日まで
何を	メディカルアロマを週1～2回5週間実施したのち 下腿の浮腫を	
どうする	<u>1.0 cm以上改善する</u>	
管理特性	浮腫の評価を足関節内外顆から 上10 cmの下腿周径を測定	

メディカルアロマの実施により効果を期待できる
幸せホルモンへの作用

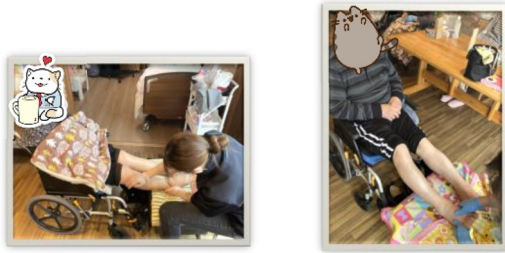
ドーパミン	症状改善・ 会話 （楽しい・褒められ体験）
オキシトシン	触れる （マッサージ）ことでの スキンシップ
セロトニン	一定リズムの運動（ 足首運動 ）・日光浴で足浴



スケール：2以上を対象とした

[illegible]

【対策の実施】マッサージの様子



【対策の実施】

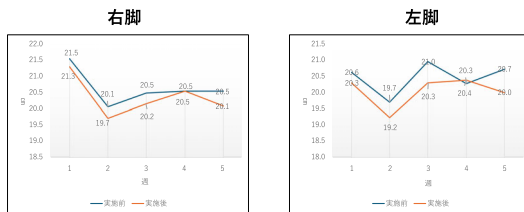
足首関節から上10cmの
周径を測定

浮腫に効果が期待できる
アロマを作成



場所	回数	いつ
ナースイン	週2回	入浴後
グループホーム	週1回	訪問時

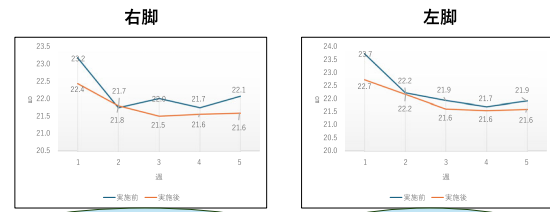
【効果の確認(有形効果)】ナースイン



1. 45cm減少

0. 63cm減少

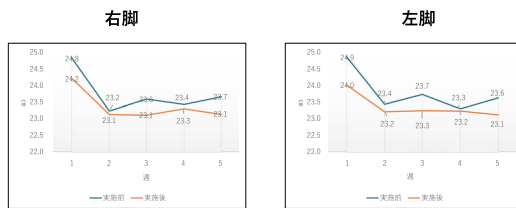
【効果の確認(有形効果)】グループホーム



1. 57cm減少

2. 11cm減少

【効果の確認(有形効果)】全体



1. 68cm減少

1. 73cm減少

【効果の確認(有形効果)】



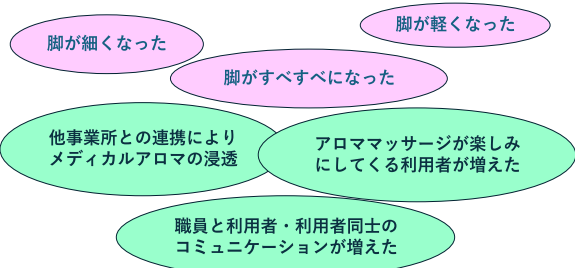
【効果の確認(無形効果)】

ドーパミン	気分が良くなった
オキシトシン	笑顔が増えた 施設内全体が良い匂いがする。 寝つきが良くなった
セロトニン	スタッフとの会話が増えた 悩みを表出してくれた

その他
皮膚の色が良くなった



【効果の確認(波及効果)】



【標準化と管理の定着】

	実施項目 (WHAT)	誰が (WHO)	いつ (WHEN)	どこで (WHERE)	なぜ (WHY)	どのように (HOW)
標準化	手技のレベル	資格取得者	今年度中	事務所で	ケアレベルの向上	実技研修
標準化	外部への啓蒙	資格取得者	R6.9月	事務所で	地域のケアレベルの向上の為	オンライン (Zoom)
教育	資格取得 (OOLプランナー)	介護・看護スタッフ	今年度中	外部研修	対応できるスタッフを増やす為	研修受講
教育	資格取得 (アロマケア技術者認定)	介護・看護スタッフ	今年度中	法人内研修	法人の方針	研修受講
管理	効果の確認	資格取得者	随時	施術先	アセスメントの定着	周径の計測

【反省と今後の進め方】

ステップ	良かった点	悪かった点	今後の進め方
テーマ選定	昨年に続き継続的に取り組めた	特になし	継続する
現状の把握 対策の狙い どころ	外部施設にまで 取り組み範囲を広げた	メディカルアロマに関して 外部の認知度不足	研修会等での啓蒙
目標設定	客観的数値で判定できた	周径以外の効果判定の必要性	文献等での調査
対策の実施	トラブルなくスムーズに実施できた	アロマの匂いが苦手な方がいた	周囲への配慮
効果の確認	達成できた	個人差がある	継続する
標準化と 管理の定着	メディカルアロマの浸透 外部への発信ができた	実施できるスタッフが少ない	手技レベルの標準化

